

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	全国就労支援協会 やるきゃんつくば校		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数) 29人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な職員配置数、設備の下、就労や将来の自立に必要な力を訓練できる多様なプログラムがあることにより、お子様が楽しく安定して通うことができているのと共に、お子様やご家族のニーズに応えることができている。	適切な数の職員数が配置できるよう、シフト組前にご利用者様の大体の人数を提示し、配置すべき人数は確保できるようにしている。また、基本的な活動室以外の部屋もあるため、状況に応じて部屋を使い分けており、お子様の快適な学習環境を提供できるよう努めている。活動内容に関しても固定化することなく、その時々に合わせて内容を企画している。	現在までに企画してきた外出プログラムは、何度か行ったこともある場所のため、お子様がさらに楽しめ、学びが深まるよう、新規の外出先や企画も模索していきたい。また、就労訓練の訓練内容を今後も研究し、増やしていきたい。
2	保護者様、ご利用されるお子様と定期的な面談を行っているため、ご家族やご本人のニーズを盛り込んだ計画作成ができしており、お子様の成長の一端を担うことができている。	モニタリング面談の実施時は、ご家庭や学校等、当施設以外でのご様子を聞き取るようにし、施設での支援方針や計画策定に活かしている。また、ご本人との個別面談時には頑張りたいことややってみたいこと、目標について等を話し合うようにし、ご本人のやる気が目標達成に繋がるよう促している。	定期的なモニタリング面談以外での面談問い合わせは少ないため、日常的に面談を実施できることをよりアピールしていく。

3	通信やSNSへのブログ投稿、サービス提供記録等により、施設内での活動内容や、実際の様子等をしっかりと伝えることができている。	月に1度の通信では1カ月の活動や教室の様子分かるよう、活動内容を網羅できるように掲載している。また、ご利用者の皆様が楽しむことができるよう、写真の使用数等も考えながら作成している。ブログでは通信でお伝えしきれない部分のご様子を記載するようしており、ご家族はもちろん、外部の方にも興味を持っていただけるよう心掛けてい	夏休み等の繁忙期にはブログの掲載が難しいため、できる限り掲載を絶やさないようにしていきたい。
---	--	---	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや、児童館、地域の方々との交流機会が少ない。	限られた時間内での活動であるため、放課後の時間を利用した近隣児童館との交流は難しい一面がある。また、お子さまによって特性も様々なため、交流するための企画選定も難しい。地域の方々との交流に関しては、企画立案の時点でまだ地域活動のお知らせが出ていないことや、地域の方々を招待するような内容の企画が立案できていないことが要因と考えられる。	児童クラブ関係者等と関わることでできる機会を作り、時間や特性を考慮した交流機会を検討していくことが必要。地域住民の方々との関りに関しても、招待できるような企画を立案し、安全に交流ができるよう検討していくことが必要。
2	保護者様同士の交流の場や、きょうだい同士の交流の場が少ない。	保護者会の開催は行っているが、回数が少なく、保護者様同士が気軽に交流できる機会としては時間も少ないため、不十分だと考えている。また、きょうだいを招くことのできるような企画も提案できていないため、きょうだい同士での交流の場が提供できていない。	これまでの保護者会だけでなく、保護者様同士が気軽に交流する事のできる機会を企画、提供できるよう検討していくことが必要。保護者会の内容に関してもアンケート等により、保護者様が求めている内容を企画していく。また、きょうだい間での交流に関しても、ごきょうだい、ご利用者様共に楽しむ事のできる内容企画を検討していく。
3	支援終了後の情報共有や、記録の作成等が固定化されていない。	支援終了後はすぐに送迎をし、その後間もなく退勤時間となってしまうため、その日中の情報共有が難しい。記録に関しても、前述と同様の理由の他、ものによっては書式等が定まっておらず、情報共有はできているものの、残りづらくなっている部分もある。	終了直後の共有は難しいものの、後日朝に朝礼の場を設ける等して、確実に情報共有ができるような環境作りが必要だと感じる。記録に関しては算数の学習状況や職場見学の状況等、個人それぞれの記録として保存している媒体がすでにあるため、同媒体を使ってより細かな記録を残していけるようにする。